

在宅医療コーディネーター養成研修会 第1回スキルアップ研修報告書

開催日時	令和元年 11 月 27 日（水） 19 時 00 分～21 時 00 分
開催場所	高松市医師会館 2 階大会議室
参加者	26 名 本研修は在宅医療コーディネーター養成研修会の今年度の受講生および修了生を対象に実施。（参加は任意） （参加者内訳：1 期生 3 名、2 期生 4 名、3 期生 7 名、4 期生 4 名、5 期生 8 名）
内 容	<p>【テーマ】 アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援について</p> <p>【内 容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意思決定表明・支援 2. 対話と聴くことの重要性 3. 対話力を高めるスキルと態度 4. 大切なことを聴く【講師等】 <p>【講 師】 高松市在宅医療介護連携推進会議 片山陽子 委員</p> <p>【形 式】 講義およびグループワーク形式</p>
結 果	<p>1. 意思決定表明・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援、医療・生活に関する意思決定の概要 ・健康レベルに応じたアドバンス・ケア・プランニング ・現行の意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニングの関係性 ・情報共有合意モデルの概要説明 <p>2. 対話と聴くことの重要性とスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援に必要な対話のスキル ・対話力を高める姿勢や傾聴、リアクションの特徴 <p>意思決定支援は対話のプロセスの質が重要となる。聞くではなく、積極的に聴くことが必要で、そのためのスキルについて説明。会話から一歩踏み込んだ対話の進め方について演習を実施。</p> <p>3. 大切なことを聴く【講師等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なこと（価値観）を明確化することは意思決定の基盤となる。 ・大切なことを理解するために必要な内容として、目標・恐れや不安・強さの根源・欠かせない能力（状況や状態）・延命治療の範囲について、実際の聴き方を例を挙げながら説明。 ・自己の価値観を明確化する方法の紹介：もしバナゲーム ・事例をもとに対話の進め方について、ロールプレイで実践。

○アンケート結果（回答数 26 名／回収率 100%）

（1）職種（複数回答あり）

薬剤師 1、看護師 1 2、准看護師 2、社会福祉士 3、精神保健福祉士 1、
介護福祉士 1、介護支援専門員 9、作業療法士 3、歯科衛生士 1

（2）本日の研修会で良かった内容を書いてください。

- ・傾聴の重要さ
- ・対話の進め方（開始と了承）
- ・「感情を受け取る」「経験を尋ねる」といったスキル
- ・話の切り出し方
- ・ACP の進め方
- ・今まさに直面している事で明日からの業務に活かしたい
- ・日常業務の見直しになった
- ・退院時（身体状態が安定している時）に ACP 意思確認をする
- ・支援者としての関わり方
- ・感情の処理をしてあげないと伝わらないこと
- ・会話と対話の違い

（3）そのほか何でも自由にお書きください。

- ・スキルアップ研修は復習や再学習に最適なので、定期的で開催して欲しい。（年に複数回）
- ・地域の人や若い人にも、もっと伝えていく必要があると思う。
- ・普段の会話でも、意識して相手の感情を理解したいと思った。
- ・日頃の患者さんとのコミュニケーションでも対話力を高め、しっかり傾聴し、患者さん主体の個別性に繋がられるような関わりをしていきたいと思った。

（4）今後、スキルアップ研修として実施してほしい内容

- ・ロールプレイ
- ・ワールドカフェ
- ・有料でも構わないので、ACP 研修をシリーズ化して欲しい
- ・傾聴スキル
- ・ACP の実践